

健康目標と行動目標との関連イメージ

基本目標	健康目標	
	主要な健康指標の改善	■主要な生活習慣病の合併症予防・重症化防止 ▽生涯を通じた健康づくり (重複記載あり)
『健康寿命を延ばす』 ○平均寿命を延ばす ○65歳の平均自立期間を延ばし、二次医療圏の格差を減らす	○がん死亡率を減少させる (全がん、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)	
	○脳血管疾患死亡率を減少させる	■脳卒中発症者を減少させる (初発率・1年以内の再発率) ▽肥満傾向にある子どもを減少させる ▽肥満者を減少させる ▽脂質異常症有病者数を減少させる ▽糖尿病有病者数を減少させる ▽高血圧有病者数を減少させる ■血圧値を改善する
	○虚血性心疾患死亡率を減少させる	■糖尿病合併症発症者数を減少させる (糖尿病腎症による新規透析導入者) ■血糖コントロールが不良な者を減少させる ■糖尿病服薬治療対象者のうち、服薬治療をしている者を増加させる ▽糖尿病有病者数を減少させる ▽メタボリックシンドローム該当者推計数を減少させる ▽20歳代女性のやせを減らす
	○8020達成者を増加させる	▽残存歯数を増加させる ▽むし歯数を減少させる ▽40歳代、50歳代の進行した歯周病の有病率を減少させる ■血糖コントロールが不良な者を減少させる ▽糖尿病有病者数を減少させる
	○自殺死亡率を減少させる	
		▽要介護者の割合を維持する ■脳卒中発症者を減少させる (初発率・1年以内の再発率) ▽低栄養傾向の高齢者の増加をおさえる

行 動 目 標		(重複記載あり)
子ども	・喫煙経験のある小中高生の割合を減らす	喫 煙
成人/青壮年	・喫煙している者の割合を減らす	
子ども	・飲酒経験のある小中高生の割合を減らす	飲 酒
成人	・多量飲酒している者の割合を減らす	
成人	・適切に食塩を摂取している者の割合を増やす	栄養・食生活
子ども	・毎日朝食に野菜を食べる子どもの割合を増やす	
成人	・果物を適量摂取する者の割合を増やす	健 診
成人	・がん検診受診者数を増やす	
子ども	・喫煙経験のある小中高生の割合を減らす	喫 煙
成人/青壮年	・喫煙している者の割合を減らす	
子ども	・飲酒経験のある小中高生の割合を減らす	飲 酒
成人	・多量飲酒している者の割合を減らす	
成人	・日常生活で、からだを動かすようにしている者の割合を増やす	運 動
成人	・運動習慣を持つ者の割合を増やす	
成人	・適切に食塩を摂取している者の割合を増やす	栄養・食生活
子ども	・毎日朝食に野菜を食べる子どもの割合を増やす	
成人/青壮年	・野菜の摂取量を増やす	健 診
成人	・果物を適量摂取する者の割合を増やす	
成人	・特定健康診査受診率を増やす	健 診
成人	・特定保健指導実施率を増やす	
子ども	・朝食を欠食している子どもの割合を減らす	栄養・食生活
青壮年	・20歳代、30歳代の朝食欠食率を減らす	
子ども	・夜更かしする子どもの割合を減らす	生活リズム
子ども	・毎日、歯を磨く子どもの割合を増やす	歯
成人	・むし歯予防にフッ化物配合歯磨き剤を使用している者の割合を増やす	
成人	・定期的に歯石や歯垢をとっている者の割合を増やす	栄養・食生活
子ども	・間食の回数が1日2回までの子どもの割合を増やす	
子ども	・毎日朝食に野菜を食べる子どもの割合を増やす	栄養・食生活
成人/青壮年	・野菜の摂取量を増やす	
子ども	・喫煙経験のある小中高生の割合を減らす	喫 煙
成人	・睡眠で休養が十分とれていると感じている者の割合を増やす	心
成人	・ストレス解消方法がある者の割合を増やす	
成人	・多量飲酒している者の割合を減らす	飲 酒
高齢者	・これからの人生に生きがいがある者の割合を増やす	生きがい
高齢者	・趣味を持っている者の割合を増やす	
成人	・地域活動やボランティア活動に参加している者を増やす	運 動
成人	・日常生活で、からだを動かすようにしている者の割合を増やす	
成人	・むし歯予防にフッ化物配合歯磨き剤を使用している者の割合を増やす	歯
成人	・定期的に歯石や歯垢をとっている者の割合を増やす	
高齢者	・これからの人生に生きがいがある者の割合を増やす	生きがい
高齢者	・趣味を持っている者の割合を増やす	
成人	・地域活動やボランティア活動に参加している者を増やす	



社会環境づくり目標

第二次健康長寿しまね推進計画（健康増進計画）目標一覧

「基本目標」「健康目標」「行動目標」の各指標の目標値設定の考え方は、以下のとおりである。

なお、目標値を設定するにあたっては、予め別表により考え方を区分したうえで、各指標について検討した。

- [説明]
- ※SHIDS：島根県健康指標データベースシステム
死亡データ（人口動態統計：厚生労働省）、人口データ、要介護者割合（島根県国民健康保険団体連合会）を使用
 - 年齢調整：昭和60年モデル人口を基準人口として算出（★印の指標が該当）

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式
基本目標（3項目、3指標）									
1 平均寿命を延ばす	平均寿命	歳	男 女	79.05 86.68	79.95 87.18	B-1	※SHIDS (2008年推計人口、2006-2010年死亡平均)	平成22年都道府県別生命表の平均寿命では、男性は中位、女性は上位に位置していた。 そこで、現状値は、平成18年～22年の5年平均（死亡データ）の値とするが、目標値は、平成22年度都道府県別生命表において、男性は10位に位置する都道府県の値を、女性は1位に位置する都道府県の値をめざす。	
2 健康寿命を延ばす	65歳平均自立期間	年	男 女	17.08 20.73	17.83 20.93	B-1	※SHIDS (2008年推計人口、2006-2010年死亡平均、要介護者率：要介護2-5)	保環研が、平成23年～24年度に実施する調査研究事業において、協力県21県の65歳平均自立期間（2010年、要介護者率：要介護2-5）を算出したところ、島根県と上位県との差は、男性0.75年、女性0.20年であった。 この差を参考に、現状値は平成18年～22年の5年平均（死亡、要介護データ）の値とするが、現状値に男性0.75年、女性0.20年をそれぞれ加えた値を目標値とした。	男性： 現状値 +0.75 女性： 現状値 +0.20
3 健康寿命の圏域差を縮める	65歳平均自立期間の圏域差	年	男 女	1.15 0.98	0.50 0.50	B-6	※SHIDS (2008年推計人口、2006-2010年死亡平均、要介護者率：要介護2-5)	男女とも、一番長い圏域と一番短い圏域の差は約1年であったため、約1年ある圏域差を半減させることとした。ただし、65歳平均自立期間の延伸が各圏域とも同じ伸びでは圏域差は縮まらないため、一番短い圏域は、一番長い圏域の2倍、平均自立期間を延ばす必要がある。	

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式					
健康目標（24項目、31指標）														
主要な健康指標の改善（5項目、10指標）														
★ 1	がん死亡率を減少させる	75歳未満の全がん年齢調整死亡率	人口10万対	男	107.1	92.1	C	人口動態統計（H23年）	がん対策推進計画（目標値：平成29年度）					
			女	50.7	46.1									
			人口10万対	男	18.1	14.0					B-2, 6	※SHIDS（2006-2010年平均）	島根県がん対策推進計画（平成20年3月）における「全がんの年齢調整死亡率（75歳未満、単年）」の目標は、平成17年から平成27年までに男性26%、女性20%低減させることである。部位別がんの年齢調整死亡率の指標・目標値を検討するにあたり、年齢は全がんの場合と同様75歳未満とするが、データは平成18年～22年の5年平均の値を用いた。また、目標値は、島根県がん対策推進計画の目標である平成27年にあわせ、平成27年を中間年（平成25年～29年）とした値とした。まず、平成17年を中間年とする値（平成15年～19年）と平成20年を中間年とする値（平成18年～22年）をもとに変化率を算出し、この変化率を用いて平成27年を中間年（平成25年～29年）とする値を予測した。胃がんについては、男女とも減少傾向にあり、このまま同じ割合で減少していけば、平成27年を中間年とした値は平成17年を中間年とした値から男性26%、女性20%以上の低減が予測されたため、予測値を目標値として設定した。大腸がん、肺がん、乳がんの平成27年予測値は、男性26%、女性20%の低減目標には達せず、子宮がんについては近年増加傾向にある。これらについては、変化率をもとにした予測値は用いず、平成17年を中間値とする値から男性26%、女性20%低減した値を目標値として設定した。	1年の変化率=現状値/H17値 ^{1/3} ※「3」はH17から現状値までの年数 目標値(H27値)=H17値×1年の変化率 ¹⁰ ※「10」はH17からH27までの年数
			女	6.1	3.4									
			人口10万対	男	22.9	18.3								
			女	5.4	4.4									
人口10万対	男	13.1	10.3											
女	8.1	6.9												
人口10万対	女	3.6	2.6											
人口10万対	女	9.0	7.4											
★ 2	脳血管疾患死亡率を減少させる	全年齢の脳血管疾患年齢調整死亡率	人口10万対	男	49.6	41.6	A-2	※1:SHIDS（2006-2010年平均）	現状値が男女とも全国値とほぼ変わらないことをふまえ、国の目標値をそのまま使用した。なお、国は、収縮期血圧（平均値）の低下、高コレステロール血症の者の割合の減少、喫煙者割合の減少、糖尿病有病率を増加させないことを総合した場合に期待できる死亡率の減少を算出し、目標値を設定している。					
			女	25.8	24.7									
★ 3	虚血性心疾患死亡率を減少させる	全年齢の虚血性心疾患年齢調整死亡率	人口10万対	男	19.4	16.7	A-3	※1:SHIDS（2006-2010年平均）	現状値が男女とも全国値より良いことをふまえ、国の目標値設定の考え方を使用した。考え方は、脳血管疾患年齢調整死亡率の場合と同じであり、男性13.7%、女性10.4%の減少が期待できることをふまえ、現状値から各割合減少させた値を目標値とした。	男性:現状値-(現状値×13.7%) 女性:現状値-(現状値×10.4%)				
			女	8.1	7.3									
★ 4	自殺死亡率を減少させる	平均自殺死亡率	人口10万対	男女計	29.0	23.2	C	人口動態統計（H19-23年の5年平均）	自死対策総合計画（目標値：平成29年度）					

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式	
健康目標（24項目、31指標）										
主要な健康指標の改善（5項目、10指標）										
5	8020達成者を増加させる	8020達成者の割合	%	男女計	33.4	56.0	B-2	H22年度県民残存歯調査	高根県歯と口腔の健康づくり計画では平成38年に80歳の1人平均残存歯数を20本にすることとしている。そのためには8020者の割合が65%であることが必要であり、現状値を平成38年までに1年あたり1.86%ずつ増加させていく必要がある。これらをふまえ、平成34年までにどれくらい増やすのか算出し（22.32%増やす）、現状値に増加分を加えた値を目標値とした。	
主要な生活習慣病の合併症予防・重症化防止（5項目、6指標）										
★1	脳卒中発症者を減少させる	脳卒中年齢調整初発率	人口10万対	男女	116.9	96.0	B-3	H18,19,21年島根県脳卒中発症状況調査（H18,19,21年の3年平均）	第一次計画の目標を達成しなかったため、第一次計画の目標値をそのまま用いた。	
		発症後1年以内の再発率	%	男女計	9.6	5.0	B-6	〈発症後1年以内の計算式〉 {1年以内の再発者数+（1年以内の再発者数/初発から再発までの期間判明者数）×再発者のうち初発から再発までの期間不明者} / 初発者数×100	第一次計画では、ベースライン値が2.1-3.0%であり、過去の平均発症率を参考に目標値（1.5%以下）を設定していた。第一次計画ベースライン値と第二次計画現状値とは調査方法が異なることもあり、第一次計画のベースライン値よりも現状値が高いことをふまえ、現状値を半減させることをめざし、目標値を設定した。	
2	糖尿病合併症発症者数を減少させる	糖尿病腎症による新規透析導入者割合	人口10万対	男女計	11.6	8.0	B-1	健康日本21（第2次）の推進に関する参考資料（平成24年7月）「糖尿病腎症による新規透析導入患者の状況（都道府県別、2010年）」より算出 〈計算式〉 2010年糖尿病腎症による透析導入者数/人口×10万 （人口：H22国勢調査）	健康日本21（第2次）の推進に関する参考資料で公表されている「糖尿病腎症による新規透析導入患者の状況（都道府県別、2010年）」より、各都道府県の糖尿病腎症による新規透析導入者割合（人口10万対）を算出し、一番よい県の現状値を目標値とした。	
3	血糖コントロールが不良な者を減少させる	20～74歳の糖尿病患者でHbA1cが8.4%(JDS値8.0%)以上の者の割合	%	男	8.5	6.0	B-6	H23年度市町村特定健診、島根県環境保健公社・JA島根厚生連が収集した事業所一般定期健診データ	糖尿病腎症による新規透析導入者数の割合の目標値は現状値から約3割減少した値になる。HbA1c8.4%（JDS値8.0%）以上は、血糖コントロール「不可」と評価される値（日本糖尿病学会編「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン」より）であることをふまえ、糖尿病腎症による新規透析導入者数の割合の目標値を達成するために、HbA1cが8.4%（JDS値8.0%）以上の者も同じ割合（3割）減らした値を目標値とした。	男性：現状値－ （現状値×30%）
				女	6.7	4.7				女性：現状値－ （現状値×30%）

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式
健康目標									
主要な生活習慣病の合併症予防・重症化防止									
4 糖尿病服薬治療対象者のうち、服薬治療をしている者を増加させる	20～74歳の特定健診等受診者でHbA1cが6.9%(JDS値6.5%)以上の者のうち服薬者の割合					B-6	H23年度市町村特定健診、島根県環境保健公社・JA島根厚生連が収集した事業所一般定期健診データ	高血糖の者は医療機関での管理（服薬治療）が必要であり、医療機関未受診者が減ることは服薬治療者が増えることにもつながることをふまえ、目標・指標を検討した。 血糖値が高く治療が必要な者は、放置することなく治療をする必要がある。現在、把握可能な指標は、HbA1cの値と服薬状況であり、日本糖尿病学会編「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン」の血糖コントロール指標と評価では、HbA1c6.9～7.4%（JDS値6.5～7.0%）未満は不十分と評価され、それ以上は不良・不可となる。 第二次計画では、HbA1c6.9%（JDS値6.5%）以上を服薬治療対象者と定義し、医療機関で管理している者（服薬治療者）を把握するが、目標値（数値）の設定根拠がないため、「増やす」にとどめ、次期計画策定時に推移をふまえ指標を再度検討する。	
	20～39歳	%	男女	31.4 38.1	増やす				
	40～64歳	%	男女	48.7 54.2	増やす				
	65歳以上	%	男女	62.9 64.7	増やす				
★5 血圧値を改善する	40～89歳の平均最大血圧値（年齢調整）	mmHg	男 女	127 122	127 122	B-6	H23年度市町村特定健診、島根県環境保健公社・JA島根厚生連が収集した事業所一般定期健診、後期高齢者健診データ（国保連合会提供、服薬あり者除く）	今より高くしないことをめざす。	
生涯を通じた健康づくり～子どもの目標～（2項目、2指標）									
1 肥満傾向にある子どもを減少させる	肥満度20%以上の子どもの割合					C	H22年度文部科学省学校保健統計	健やか親子しまね計画（目標値：平成29年度）	
	小学5年	%	男女	9.66 7.02	減少				
	中学2年	%	男女	6.08 7.96	減少				
	高校3年	%	男女	8.64 7.81	減少				
2 むし歯数を減少させる	一人平均むし歯数					C			
	3歳児	本	男女計	0.77	0.54		H22年度母子保健集計	歯と口の健康づくり計画（目標値：平成28年度）	
	12歳児	本	男女計	1.33	0.93		H22年度島根県市町村歯科保健対策評価表		

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式
健康目標									
生涯を通じた健康づくり～青壮年の目標～（9項目、9指標）									
★ 1 肥満者を減少させる	20～64歳の年齢調整肥満者割合	%	男 女	26.5 15.2	22.0 13.0	A-3	H23年度市町村特定健診、島根県環境保健公社・JA島根厚生連が収集した事業所一般定期健診データ	国の考え方「10年後も現在の肥満者の割合が維持される」では、メタボリックシンドローム該当者及び予備群者推計数の目標達成（平成22年度比で平成29年度までに25%減少）が難しいと思われる。平成18年～22年の5年分の国民健康・栄養調査結果の肥満者割合（20歳～69歳・男性・年齢調整）において、一番低かった県の割合は22.1%であった（出典「平成22年国民健康・栄養調査報告」厚生労働省）ことから、男性は、一番低かった県の値をめざす。また、女性は、全国データが算出されていないため、男性の現状値から目標値に向けての低減割合（17%）を用いて目標値を算出した。	女性：現状値－（現状値×17%） 小数点以下四捨五入
2 20歳代女性のやせを減らす	20歳代女性のやせの者の割合	%	女	19.5	19.5	B-6	H23年度市町村特定健診、島根県環境保健公社・JA島根厚生連が収集した事業所一般定期健診データ	県では今まで20歳代女性のやせの者の割合は把握していなかった。現状値を全国と比較すると、全国より低いことをふまえ、第二次計画では今より増やさないことをめざし、今後、推移を見ることとする。	
★ 3 脂質異常症有病者数を減少させる	20～64歳の脂質異常症年齢調整有病者割合	%	男 女	34.1 22.7	25.6 17.0	B-6	H23年度市町村特定健診、島根県環境保健公社・JA島根厚生連が収集した事業所一般定期健診データ	国は、脂質異常症を高コレステロール血症（総コレステロール値とLDLコレステロール値）で把握し、40歳～79歳の割合を25%低下させるとしている。県では、中性脂肪、LDLコレステロール、HDLコレステロールの各値で脂質異常症の者を推定しているが、低減については、国の低減目標に準じ、25%低下させることをめざす。	男性：現状値－（現状値×25%） 女性：現状値－（現状値×25%）
★ 4 糖尿病有病者数を減少させる	20～64歳の糖尿病年齢調整有病者割合	%	男 女	5.6 2.3	5.6 2.3	B-6	H23年度市町村特定健診、島根県環境保健公社・JA島根厚生連が収集した事業所一般定期健診データ	糖尿病患者数は今後も増加していくことが推測される。国の考え（現在の性・年齢階級別糖尿病有病率が今後も維持できれば、有病者数の増加は抑制される）に準じ、現在の割合を維持することとした。	
★ 5 高血圧有病者数を減少させる	20～64歳の高血圧年齢調整有病者割合	%	男 女	18.8 10.6	18.8 10.6	B-6	H23年度市町村特定健診、島根県環境保健公社・JA島根厚生連が収集した事業所一般定期健診データ	平均収縮期血圧値が国よりも低いことを考慮し、現在の割合を維持することとした。	
6 メタボリックシンドローム該当者推計数を減少させる	40～74歳のメタボリックシンドローム該当者及び予備群者推計数	人	男 女	56,000 20,000	42,000 15,000 (25%減少)	C	H22年度各保険者データ（医療費適正化計画より）	医療費適正化計画（目標値：平成29年度） 医療費適正化計画では、平成29年度時点で平成22年度と比べてメタボリックシンドローム該当者及び予備群を25%減少させることを目標としている。平成22年度のメタボリックシンドローム該当者及び予備群者推計数の算出式には平成29年度の推計人口を用いており、平成29年度時点の推計値と比較ができるようにしている。健康増進計画では、医療費適正化計画に準じ、平成29年度時点で平成22年度と比べて25%減少させることをめざす。現状値（推計値）は、医療費適正化計画に準じ、人口構成が平成29年推計人口であるとみなして算出した。 なお、現状値及び目標値とも、健診を実施した人も実施しなかった人も同じ割合でメタボリックシンドローム該当者及び予備群者が出現すると仮定した場合の値である。	年齢階級別H29年推計人口×H22年度特定健診メタボ該当者及び予備群者割合×0.75の総和

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式		
健康目標											
生涯を通じた健康づくり～青壮年の目標～											
7	30歳代のむし歯数を減少させる	30歳代一人平均むし歯数	本	男女計	10.30	7.21	C	H23年度島根県市町村歯科保健対策評価表	歯と口の健康づくり計画 (目標値：平成28年度)		
8	40歳代、50歳代の進行した歯周病（CPI個人コード3以上）の有病率を減少させる	進行した歯周病（CPI個人コード3以上）の有病率	%	男 女計			C	H23年度島根県市町村歯科保健対策評価表	歯と口の健康づくり計画 (目標値：平成28年度)		
					40歳代	41.9					33.1
					50歳代	49.8					42.8
9	残存歯数を増加させる	一人平均残存歯数	本	男 女計			C	H22年度県民残存歯調査	歯と口の健康づくり計画 (目標値：平成33年度)		
					45～54歳	25.56					27.0
					55～64歳	22.16					24.0
生涯を通じた健康づくり～高齢者の目標～（3項目、4指標）											
★1	要介護者の割合を維持する	要支援と要介護1の割合（年齢調整）	%	男 女	65歳以上	4.3	4.3	H23年度要介護者データ（10月分、国保連合会）	要介護者の割合を今よりも増やさないこととした。 なお、要介護2～5は自立した生活を送ることができない状態と定義し平均自立期間の算出に用いている。要支援・要介護1は介護度を進行させない早期な対応が必要な状態と考え、今後の推移をみていくこととする。		
					75歳以上	8.5	8.5				
					要介護2～5の割合（年齢調整）						B-2
					65歳以上	6.3	6.3				B-6
					75歳以上	12.3	12.3				
						14.2	14.2				
						14.2	14.2				
2	低栄養傾向のある高齢者の増加をおさえる	65歳以上のBMI20以下者の割合	%	男 女	17.8	19.0	B-6	H23年度市町村特定健診、島根県環境保険公社・JA島根厚生連が収集した事業所一般定期健診、後期高齢者健診データ（国保連合会提供）	国の考え方にそって県の推計値を算出した。つまり、現在の年齢階級別（65歳以上）のBMI20以下者の割合が、今後一定であると仮定しても、平成32年度にはBMI20以下者の割合は男性19.1%、女性26.1%に達すると推計されるため、この推計値を上回らないことをめざし、目標値を設定した。		
					24.5	26.0					
3	残存歯数を増加させる	65～74歳の一人平均残存歯数	本	男女計	18.58	22.0	C	H22年度県民残存歯調査	歯と口の健康づくり計画 (目標値：平成33年度)		

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式
行動目標（27項目、28指標 再掲2項目含む）									
子どもの目標（7項目、7指標）									
1 朝食を欠食している子どもの割合を減らす	朝食を欠食する子どもの割合							健やか親子しまね計画 (目標値：平成29年度)	
	1歳6か月児	%	男女計	3.9	0	C	H23年乳幼児健診アンケート		
	3歳児	%	男女計	4.9	0				
	小学5年	%	男女	2.0 2.2	0 0				
	中学2年	%	男女	7.2 10.5	5 5				
高校2年	%	男女	18.0 16.0	10 10					
2 毎日朝食に野菜を食べる子どもの割合を増やす	1歳6か月児	%	男女計	27.8	増加	C	H23年度乳幼児健診アンケート	健やか親子しまね計画 (目標値：平成29年度)	
	3歳児	%	男女計	18.9	増加				
3 間食の回数が1日2回までの子どもの割合を増やす	1歳6か月児	%	男女計	85.4	100	C	H22年度母子保健集計システム	健やか親子しまね計画 (目標値：平成29年度)	
	3歳児	%	男女計	87.4	100				
4 夜更かしをする子どもの割合を減らす	21時までに寝る子どもの割合					C	H22年度母子保健集計システム	健やか親子しまね計画 (目標値：平成29年度)	
	1歳6か月児	%	男女計	17.0	増加				
3歳児		%	男女計	8.3	増加				
	5 毎日、歯を磨く子どもの割合を増やす	歯磨き習慣がある子どもの割合				C	H22年度母子保健集計システム	健やか親子しまね計画 (目標値：平成29年度)	
1歳6か月児	%	男女計	72.3	100					
3歳児		%	男女計	90.1	100				
	6 飲酒経験のある小中高生の割合を減らす	今までに一口でも飲酒したことがある子どもの割合					C	H22年度未成年者のための喫煙防止等についての調査	健やか親子しまね計画 (目標値：平成29年度)
小学5、6年		%	男女	50.4 43.2	0 0				
中学2年		%	男女	56.4 53.8	0 0				
高校2年		%	男女	70.0 65.2	0 0				

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式	
行動目標（27項目、28指標 再掲2項目含む）										
子どもの目標（7項目、7指標）										
7 喫煙経験のある小中高生の割合を減らす	今までに一口でも喫煙したことがある子どもの割合	%	男	2.6	0	C	H22年度未成年者のための喫煙防止等についての調査	健やか親子しまね計画 (目標値：平成29年度)		
			女	1.2	0					
	小学5、6年	男	3.7	0						
		女	4.6	0						
中学2年	男	13.3	0							
			女	10.1	0					
成人共通の目標（15項目、16指標）										
1 野菜の摂取量を増やす	1日の野菜摂取量が350g以上の者の割合	%	男	46.1	60.0	C	H22年度島根県健康栄養調査（栄養調査）	国の目標は、カリウム、ビタミンC、食物繊維等の適量摂取が期待される量として、1日の平均摂取量を350gにすることである。これは今の平均摂取量よりも70g増やすこととなる。県では、今後、今より1皿（70g）多く食べることを啓発する予定であることをふまえ、平成22年度栄養調査の個人の摂取量に70gを加えた場合に350g以上者の割合がどれくらいになるかを算出し、目標値を設定した。		
			女	38.6	60.0					
			20歳代	男女計	27.8					40.0
			30歳代	男女計	36.0					50.0
2 果物を適量摂取する者の割合を増やす	20～79歳において、1日の果物摂取量が100g以上の者の割合	%	男	32.9	50.0	B-4	H22年度島根県健康栄養調査（栄養調査）	国の目標は、果物摂取量が100g未満者の割合（60%）を30%にすることであり、30%の者は今より50g摂取量が増えることを期待している。 県の100g未満者の割合は国とほぼ同程度ではあるが、全く果物を食べなかった者が多かった。過剰に摂取している者もいるが、まずは、全く食べていない者の摂取を促すことが必要である。これらより、平成22年度栄養調査で100g未満だった者の各摂取量に50gを加えた場合に100g以上者の割合がどれくらいになるかを算出し、目標値を設定した。		
			女	43.0	60.0					
3 適切に食塩を摂取している者の割合を増やす	20～79歳において、1日の食塩摂取量が8g以下の者の割合	%	男	23.5	40.0	B-4	H22年度島根県健康栄養調査（栄養調査）	国の目標は、平均摂取量10.6g（平成22年）を8gにすることであり、今より2.6g減らすこととしている。 県の平均摂取量は国とほぼ同程度であり、10gを超える過剰摂取者は依然多い。脳卒中対策として、今後一層、減塩の啓発をする必要があることをふまえ、男性は、平成22年度栄養調査で10g以下でなかった者（第一次計画目標の10g以下を達成しなかった者）の各摂取量から3.4g（男性の平成22年度平均摂取量11.4g-目標8g=3.4g）を引いた場合に8g以下者の割合がどれくらいになるかを算出し、目標値を設定した。 女性は、平成22年度栄養調査の平均摂取量が10gであり、目標値設定に、男性と同様の計算を用いることは不適當であるため、平均摂取量を8gにすることをめざし、50%を目標値とした。		
			女	31.1	50.0					

目 標	指 標	単 位	性	現状値	目標値	考 考 方 方 別 別 表 表 区 区 分 分	現 現 状 状 値 値 出 出 典 典	目 目 標 標 値 値 設 設 定 定 の の 考 考 え え 方 方	目 目 標 標 値 値 算 算 出 出 式 式
行動目標（27項目、28指標 再掲2項目含む）									
成人共通の目標									
4 運動習慣を持つ者の割合を増やす	20～79歳において、1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上している者の割合	%	男	28.3	40.0	B-3	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	男性は、第一次計画の目標値29.5%を達成してはいるが、目標値まであと少しであったため、ベースライン値（平成19年度健康調査）から現状値（平成22年度健康調査）までの変化率を用いて平成32年度の予測値を算出し、目標値を設定した。 女性は、第一次計画で目標達成せず、やや悪化傾向にあったことをふまえ、第一次計画の目標である「20%増やす」を用い、現状値の20%増の値を算出し、目標値を設定した。	1年の変化率= $((100\% - \text{現状値}) / (100\% - \text{H19値}))^{(1/3)}$ ※「3」はH19から現状値までの年数 目標値(H32値) $=100\% - ((100\% - \text{H19値}) \times 1 \text{年の変化率}^{1/3})$ ※「13」はH19からH32までの年数 計算結果 男性:39.4% 女性:現状値+(現状値×20%) 小数点以下四捨五入
			女	22.2	27.0				
5 日常生活で、からだを動かすようにしている者の割合を増やす	20～79歳において、散歩をしたり、速く歩いたり、乗り物やエレベーターを使わずに歩くようにしている者の割合	%	男	45.4	55.0	B-2	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	男女とも目標値を達成したため、ベースライン値（平成11年度健康調査）から現状値（平成22年度健康調査）までの変化率を用いて平成32年度の予測値を算出し、目標値を設定した。	1年の変化率= $((100\% - \text{現状値}) / (100\% - \text{H11値}))^{(1/11)}$ ※「11」はH11から現状値までの年数 目標値(H32値) $=100\% - ((100\% - \text{H11値}) \times 1 \text{年の変化率}^{1/11})$ ※「21」はH11からH32までの年数 計算結果 男性:55.1% 女性:54.9%
			女	46.1	55.0				
6 睡眠で休養が十分とれていると感じている者の割合を増やす	20～79歳において、普段の睡眠で休養が十分とれている者の割合	%	男	74.4	80.0	B-3	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	男女とも第一次計画で目標達成せず、やや悪化傾向にあったことを踏まえ、第一次計画の目標である「10%増やす」を用い、現状値の10%増で目標値を算出し、目標設定をした。	男性:現状値+(現状値×10%)=81.8 女性:現状値+(現状値×10%)=79.4
			女	72.2	80.0				
7 ストレス解消方法がある者の割合を増やす	20～79歳において、自分なりのストレス解消方法がある者の割合	%	男	95.0	100	B-6	H16年度島根県健康栄養調査	平成22年度健康調査の設問に問題があったため、平成22年度健康調査の結果は参考値扱いとし、現状値は平成16年度健康調査の値を用いる。また、目標値は第一次計画と同様100%とした。	
			女	95.2	100				
			(参考値)						
8 多量飲酒している者の割合を減らす	20～79歳において、毎日2合以上飲酒する男性の割合	%	男	9.0	6.8	B-6	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	平成18年～22年の5年分の国民健康・栄養調査結果の飲酒習慣者割合（20歳以上・男性・年齢調整）において、島根県は全国で3番目と高く48.3%であった（出典「平成22年国民健康・栄養調査報告」厚生労働省）。全国平均は35.9%であり、全国平均並みにするためには約25%減らす必要がある。これを参考に、毎日2合以上の飲酒者割合を25%減らすこととし、目標値を設定した。	
			女	3.0	2.6				

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式
行動目標									
成人共通の目標									
9 喫煙している者の割合を減らす	たばこを習慣的に吸っている者の割合	%	男女	30.7	12.3	A-3	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	国の目標設定の考え方と同様、「現在喫煙習慣がある者のうち、今後禁煙したいと思っている者が全員禁煙に成功した」場合の喫煙率を目標値として設定した。	
			20～79歳	7.0	3.2				
	20～39歳	%	男女	46.0 11.3	17.7 5.4	A-3			
10 むし歯予防にフッ化物配合歯磨き剤を使用している者の割合を増やす	20～79歳において、むし歯予防のためにフッ素が入った歯磨き剤を利用している者の割合	%	男女計	38.3	57.5	C	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	歯と口腔の健康づくり計画に準じ、現状値の1.5倍を目標値とする	
11 定期的に歯石や歯垢をとっている者の割合を増やす	20～79歳において、1年に1回以上歯科医院に行き管理している者の割合	%	男女計	24.9	37.4	C	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	歯と口腔の健康づくり計画に準じ、現状値の1.5倍を目標値とする	
12 特定健康診査受診率を増やす	特定健診の受診率	%	男女計	46.6	70.0	C	H22年度厚生労働省保険局からの資料	医療費適正化計画（目標値：平成29年度）	
13 特定保健指導実施率を増やす	特定保健指導の実施率	%	男女計	11.1	45.0	C	H22年度厚生労働省保険局からの資料	医療費適正化計画（目標値：平成29年度）	
14 がん検診受診者数を増やす	胃がん検診の受診者数	人	男女計	98,595	145,800	C	H23年度独自調査（市町村実施分+検診実施機関分+県内病院人間ドック実施分）	がん対策推進計画（目標値：平成29年度）	
	肺がん検診の受診者数	人	男女計	135,108	145,800				
	大腸がん検診の受診者数	人	男女計	137,843	145,800				
	子宮がん検診の受診者数	人	女	34,753	53,800				
	乳がん検診の受診者数	人	女	30,585	41,200				
15 地域活動やボランティア活動に参加している者の割合を増やす	20～79歳において、地域活動やボランティア活動をしている者の割合	%	男	45.9	60.0	B-6	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	男女とも、過去の調査と比べ悪化傾向にあるため、平成16年度健康調査時の値まで戻すことをめざし、目標値を設定した。	
			女	32.4	46.0				

目標	指標	単位	性	現状値	目標値	考え方 別表区分	現状値 出典	目標値設定の考え方	目標値 算出式
行動目標									
青壮年に重点をおいた目標（3項目、3指標）									
1 20歳代、30歳代の朝食欠食率を減らす	朝食を欠食する者の割合（習慣）	%	男	37.3	30.0	C	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	食育推進計画（目標値：平成28年度） 20歳代男性は改善傾向にあるため、平成16年度栄養調査から現状値（平成22年度栄養調査）までの変化率を参考に、今後も欠食者が約3割減少することを期待して平成28年度の目標値（第二次食育推進計画）を設定した。この減少割合（約3割）を20歳代女性、30歳代もめざし、目標値を設定した。	
			女	28.4	20.0				
	20歳代	%	男	17.8	13.0				
			女	12.5	10.0				
	30歳代	%	男	27.8	40.0				
			女	36.0	50.0				
20～39歳	%	男	46.0	17.7					
女		11.3	5.4						
高齢者に重点をおいた目標（2項目、2指標）									
1 これからの人生に生きがいがある者の割合を増やす	60～79歳の人生に生きがいを感じる者の割合	%	男	67.7	80.0	B-2	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	男女とも、過去の調査と比べ増加傾向にあるため、ベースライン値（平成11年度健康調査）から現状値（平成22年度健康調査）までの変化率を用いて平成32年度の予測値を算出し、目標値を設定した。	1年の変化率= $((100\% - \text{現状値}) / (100\% - \text{H11値}))^{1/11}$ ※「11」はH11から現状値までの年数 目標値(H32値)= $100\% - ((100\% - \text{H11値}) \times 1\text{年の変化率}^{21})$ ※「21」はH11からH32までの年数 計算結果 男性:77.0% 女性:76.1%
			女	63.4	80.0				
2 趣味を持っている者の割合を増やす	60～79歳の趣味を持っている者の割合	%	男	73.2	80.0	B-2	H22年度島根県健康栄養調査（健康調査）	過去に類似のデータがあり、女性は過去から比べ増加傾向にあるため、変化率を用いて目標値を算出。男性は、過去から比べると横ばいであるが、現状値が女性と同程度であるため、男女とも同じ目標値を設定した。	1年の変化率= $((100\% - \text{現状値}) / (100\% - \text{H11値}))^{1/11}$ ※「11」はH11から現状値までの年数 目標値(H32値)= $100\% - ((100\% - \text{H11値}) \times 1\text{年の変化率}^{21})$ ※「21」はH11からH32までの年数 計算結果 女性:77.8%
			女	73.9	80.0				

[参考]

【評価指標に関する考え方の整理】

- ①国が示した項目に加え、特に県において課題となっている項目は指標として決定する。
- ②他の計画で目標設定されている項目については、その計画の目標に準ずるが、項目によりその計画との調整を図る。
- ③壮年期の年齢は20歳～64歳とする。しかし、指標及び目標値の設定で、年代ごとでしか把握できない項目については20～69歳とする。
- ④現時点で現状値がなく、新たに調査等を行わないと把握が困難なものは、今後、目標として設定するかどうか、把握方法等も含め検討する。
(例：慢性閉塞性肺疾患（COPD）の知識、ロコモティブシンドロームの認知度等)
- ⑤実施主体が市町村等の関係機関である場合は、数値目標は関係機関と調整して決める。(例：特定健診受診率、特定保健指導実施率等)

考え方・別表区分

基本目標・健康目標・行動目標の目標値設定の考え方

健康日本21（第2次）の目標及び第一次健康増進計画の評価を踏まえ、基本目標・健康目標・行動目標の各指標で用いる目標値については、以下の考え方をを用いて設定する。

		考 え 方		参 考		
A	健康日本21（第2次）に鳥根県と同様の指標があり、現状値の比較が可能な場合	現状値が全国よりも悪い場合	全国の現状値を目標にする		1	A
		現状値が全国とあまり変わらない場合	全国の目標値（健康日本21（第2次）の目標値）を目標にする		2	
		現状値が全国よりも良い場合	健康日本21（第2次）の目標値設定の考え方をを用いて、目標値を設定する		3	
B	鳥根県独自の指標の場合	都道府県の現状値が把握できる場合	一番良い都道府県の現状値を目標にする or 偏差値を算出し、一つ上のランクに順位をあげた時の数値を目標にする (例：偏差値50までの場合は、60をめざす)		1	B
			県の現状値しか把握できない場合	第一次計画の目標値を達成した場合	ベースライン値と最終評価値（現状値）を比較し、変化率を算出する。この変化率を用いて目標値を設定する	
		目標値は設定していないが、過去のデータがあり、改善傾向にある場合		3		
		第一次計画の目標値を達成しなかった場合			第一次計画の目標値を用いる or 変化率を用いる	
					今後の啓発を考慮した目標値を設定する	
		過去のデータがない場合		参考となるデータの変化率を用いて、目標値を設定する	5	
			関係者の合意で目標値を設定する		6	
過去のデータがあり、悪化傾向にある場合	関係者の合意で目標値を設定する					
C	他の計画を優先する目標については、他の計画の目標値を引用する ただし、健康増進計画と計画期間が異なる場合は他計画の目標年度の目標値として扱う				C	

健康長寿しまね推進計画(健康増進計画) 実施期間と評価時における基礎資料について

- 健康増進計画に関する調査を5年に1回(脳卒中発症者状況調査は隔年)実施すると仮定した場合、今後の実施予定年に(○)を記載している。(あくまでも現時点での予定であり、調査年が変更になる可能性もある)
- 健やか親子しまね計画、歯と口の健康づくり計画の進行管理の際に行う各調査については掲載していない。

平成24年度現在の想定

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	把握する指標
健康長寿しまね 推進計画 (健康増進計画)					見直し	第二次 計画 中間年									第二次 計画 最終年		
															見直し	第三次 計画	
健康増進計画に関する調査	事業所 健康づくり調査	○						(○)					(○)				社会環境づくり目 標の指標
	健康・栄養調査		○					(○)					(○)				行動目標の各指標
	未成年者の喫煙 防止等について の調査		○					(○)					(○)				行動目標の各指標
	脳卒中発症状況 調査	○		○		(○)		(○)		(○)		(○)		(○)		(○)	脳卒中初発・再発 率
	社会環境づくりに 関する調査				○												社会環境づくり目 標の指標
中間・最終評価時に把握できるデータの直近年	死亡データ 要介護者データ		○→					(○)→					(○)→				平均寿命・自立期 間・死亡率・要介 護者割合
	健診データ			○				(○)					(○)				各疾病有病者・肥 満・やせ・HbA1c・ 血圧値
	透析データ		○					(○)					(○)				透析導入者
	保険者データ		○					(○)					(○)				(医療費適正化計 画) 健診実施率・ 特定保健指導実 施率・メタボ該当 者
保健医療計画 がん対策推進計画 健やか親子 しまね計画					見直し	(見直し)									次期 計画へ		
食育推進計画 歯と口の健康づくり 計画				見直し		(見直し)									次期 計画へ		
医療費 適正化計画				見直し		(見直し)									次期 計画へ		

「社会環境づくり目標」の把握と出典

1) 「地域力で健康づくり活動を推進しよう！」

		把握方法	出典
目 標	①健康づくりに関する協議会を設置している市町村数	市町村への調査	H24年健康づくりを支援する環境づくり調査
	②地区ごとの健康づくり活動を推進する組織体制がある市町村数	市町村への調査	H24年健康づくりを支援する環境づくり調査
	③市町村の地区組織活動の回数	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健事業報告第32表（4-1）
	④健康づくりグループ推薦団体数	県健康推進課把握	H24健康長寿しまね推進会議報告
経過を把握	市町村の地区組織活動の延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健事業報告第32表（4-3）
	健康増進に関する会議の開催回数		
	市町村（健康増進関係）	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健事業報告第34表
	県（健康長寿しまね推進会議関係）	県健康推進課把握	H23年度実績報告
	県（食育会議関係）	県健康推進課把握	H23年度実績報告
	健康増進に関する会議の参加機関・団体数		
	市町村（健康増進関係）	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健事業報告第34表
	県（健康長寿しまね推進会議関係）	県健康推進課把握	H23年度実績報告
県（食育会議関係）	県健康推進課把握	H23年度実績報告	

2) 「地域ぐるみで子どもの健康を守ろう！」 「地域ぐるみで若者の健全な生活を応援しよう！」

		把握方法	出典
目 標	①乳幼児健診延実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第3表（8-1）
	②乳幼児保健指導実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第5表（2-1）
	③乳幼児の栄養指導実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第14表（4-1）
	④喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室を実施している学校割合		
	小学校の割合	県保健体育課把握	保健体育課調査（H23年度末）
	中学校の割合	県保健体育課把握	保健体育課調査（H23年度末）
	高校の割合	県保健体育課把握	保健体育課調査（H23年度末）
	⑤がん教育を実施している学校割合	県保健体育課把握	保健体育課調査（H24年度）
	⑥日常の学校生活における歯・口の健康づくりを実施している学校の割合	県保健体育課把握	保健体育課調査（H24年度）
	⑦フッ化物洗口実施者数	県健康推進課把握	健康推進課把握（H22年度）
	⑧スクールカウンセラーを配置している学校割合	県義務教育課把握	義務教育課把握（H24年度）
	⑨思春期学級実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第24表
	⑩敷地内禁煙を実施している学校割合	県保健体育課把握	保健体育課把握（H23年度末）
	⑪学校保健委員会を実施している学校割合	県保健体育課把握	保健体育課把握（H23年度末）
	⑫食に関する体験型イベント参加者数	県健康推進課把握	県食育推進計画（H23年度）
⑬食に関する体験ができる機関・団体数	県健康推進課把握	県食育推進計画（H23年度）	
⑭20歳未満の栄養指導実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第14表（4-1）	
経過を把握	母子保健に関する会議の開催回数		
	市町村（母子保健関係）	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健事業報告第34表
	県（母子保健関係）	県健康推進課把握	H23年度実績報告
	母子保健に関する会議の参加機関・団体数		
	県（母子保健関係）	県健康推進課把握	H23年度実績報告
	子育てサロン・サークル数	県青少年家庭課把握	青少年家庭課把握（H23年度末）
20歳未満の運動指導実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第17表（2-1）	
20歳未満の禁煙指導実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第20表（2-1）	

3) 「地域や職域で、働き盛りの健康づくりの情報を相互に発信しよう！」 「地域や職域で、健康づくりの場を増やそう！」

		把握方法	出典
目 標	①地域や職域の広報誌の健康づくり情報の掲載回数	県健康推進課把握	H23健康推進課実績（健康づくり・食生活・歯・がん）
	②健康づくり応援店登録数	県健康推進課把握	健康推進課把握（H24年12月末現在）
	③たばこの煙のない飲食店・理美容店登録数	県健康推進課把握	健康推進課把握（H24年12月現在）
	④がん検診啓発協力事業所数	県健康推進課把握	健康推進課把握（H24年11月現在）
	⑤20歳以上の栄養指導実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第15表（4-1）

	⑥20歳以上の運動指導実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第18表(2-1)	
	⑦20歳以上の禁煙指導実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第21表(2-1)	
	⑧歯科の衛生教育参加延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第36表(4-3)	
	⑨歯科健診・保健指導実施延人員	地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健・健康増進事業報告第11表(4-1)	
	⑩事業主セミナー参加者数	県健康推進課把握	H23年鳥根県地域職域健康づくり推進協議会実績報告より	
	⑪職場への出前講座実施回数	県健康推進課把握	H23年鳥根県地域職域健康づくり推進協議会実績報告より	
	⑫食生活改善推進協議会が実施する学習会数	県健康推進課把握	H23年度食生活改善推進協議会の報告	
	⑬メンタルヘルス対策に取り組む事業所割合	事業所健康づくり調査	H21年度「事業所健康づくり調査」	
	⑭がん検診実施事業所割合	肺がん検診実施事業所割合	事業所健康づくり調査	H21年度「事業所健康づくり調査」
		大腸がん検診実施事業所割合	事業所健康づくり調査	H21年度「事業所健康づくり調査」
		胃がん検診実施事業所割合	事業所健康づくり調査	H21年度「事業所健康づくり調査」
		乳がん検診実施事業所割合	事業所健康づくり調査	H21年度「事業所健康づくり調査」
		子宮がん検診実施事業所割合	事業所健康づくり調査	H21年度「事業所健康づくり調査」
	⑮事業所で敷地・施設内禁煙、完全分煙を実施している事業所割合	事業所健康づくり調査	H21年度「事業所健康づくり調査」	
	⑯敷地・施設内禁煙を実施している公共施設	県健康推進課把握	H24年健康づくりを支援する環境づくり調査	
	経過を把握	地域や職域の健康づくりに関する会議の開催回数		
市町村(地域・職域の健康づくり関係)		地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健事業報告第34表	
県(地域・職域の健康づくり関係)		県健康推進課把握	H23年度実績報告	
地域や職域の健康づくりに関する会議の参加機関・団体数				
市町村(地域・職域の健康づくり関係)		地域保健・健康増進事業報告	H22年度地域保健事業報告第34表	
県(地域・職域の健康づくり関係)	県健康推進課把握	H23年度実績報告		
禁煙治療実施医療機関数	健康推進課把握	健康推進課把握(H24年12月末)		

4)「高齢者が元気に活躍できる地域社会を作ろう！」

		把握方法	出典
目標	①健康づくりに関する協議会で介護予防に取り組んでいる市町村数	県健康推進課把握	(今後把握予定)
経過を把握	通所型介護予防事業 参加延人数	県高齢者福祉課把握	県高齢者福祉課把握
	生涯現役証交付者数	県高齢者福祉課把握	県高齢者福祉課把握
	夢ファクトリー支援事業実施グループ数	県高齢者福祉課把握	県高齢者福祉課把握
	地域活動支援事業実施グループ数	県高齢者福祉課把握	県高齢者福祉課把握

5)「生活習慣病を予防し、悪化を防ぐ仕組みを作ろう！」 「みんなで生活習慣病の予防、悪化防止に取り組もう！」

		把握方法	出典
目標	①生活習慣病を予防したり、悪化を防ぐための検討の場の確保(県・二次医療圏の検討会)	県健康推進課把握	H23年度実績報告
	②健康診断(がん検診・特定健康診査)受診率向上に向けた啓発活動の回数	県健康推進課把握	(今後把握予定)

6)「多様な分野と連携し、健康なまちづくりを進めよう！」

		把握方法	出典
目標	①健康づくり応援店に登録している農家レストラン・産直市数	県健康推進課把握	H24年度実績
	②地域づくり施策と連携して健康づくりに取り組む市町村数	県健康推進課把握	(今後把握予定)
	③小地域福祉活動に取り組む地区数	県地域福祉課把握	H23年度実績

健康長寿しまね推進計画 (島根県健康増進計画)

[第二次]

平成25年3月
島根県

